

Q. 中予家畜保健所移転後の活用を A. 計画はないが、必要があれば検討



稲田 輝宏 議員



岡田中学校スグ横の県中予家畜保健衛生所

問

県中予家畜保健衛生所・家畜病性鑑定所の移転計画がある。校区単位での諸活動や不足する北公民館などの駐車場に活用し、地元の活性化を促してはどうか。

答

副町長

県の構想では移転には4年程度かかり、売却の方針だ。

小・中学校の各行事は運動場を駐車場にしているが不足していない。

また、公民館行事での駐車は約20台分の借上地と、中学校運動場を利用してあるので、新たな土地の確保は考えていない。

今のところ跡地の利用計画はないが、移転までに時間があるので、学校や地域の状況を見て必要があれば検討する。

問 国体会場の周辺整備を

国体射撃会場となる警察学校は、全国の人が来場するので、周辺の整備を早急に。県道交差点から東への道路の歩道は途中で途切れていて、警察学校周辺の水路もむき出しになっている。会場にふさわしい整備を。

答 国体に関係なく調整し対応する

警察学校南の県道交差点から東への町道は、現地を調査し、国体に関係なく対応する。

答 町長

水路の件は、危険度などを再調査し、国体に関係なく、できるだけ早く整備するよう検討する。



危険な水路、早急な整備を！

問 岡田駐在所廃止の対応は

県警方針の岡田駐在所廃止計画で、周辺住民には犯罪抑止力の低下による不安から存続の意見もある。

廃止後は地域防犯活動を強化し、駐在所跡をその拠点に。その後押しを。

答 建築物を残し防犯拠点に

総務課長

岡田駐在所の廃止により、松前交番の管轄となる。建物と赤色灯はそのまま残し、防犯活動の拠点としての利用も十分可能。今までの日勤体制から24時間体制で初動態勢の強化を図る。松前交番にミニパトの配備も要望している。



廃止計画の岡田駐在所